



濃いトレース

ラッセル

至：登山口

2月積雪期、濃いトレースを辿っていくと見たこともない地点。Uターンして頂上に向かうも途中で時間切れで引き返す。



草すべりの分岐点から少し行ったところに仙人岳に向かって濃いトレースがあります。前掛山登山口方面のトレースは薄いのです。疑いもせず、その濃いトレースを歩いて行くと見たこともない場所に到着。当然Uターン。時間ロス。しかも精神にきたせいか足が重い。本当のコースに戻ったらトレースがあったりなかったりでラッセル。シェルターに着いた時点で時間切れ。撤退！（HP参照）

ラッセルがしっかりしているとそのまま進んでしまうことがある。おかしい、標高を上げないと頂上には着かないはずなのに…。思いながら…。

道迷いは、季節によっても気象によっても左右される。積雪期ではルートファインディングは慎重にならないと余計な体力も時間もかかってしまう。そんなことは、分かっているけど道迷いは起きてしまう。

「あれっ？おかしい？」と思った次の行動で決まる。